

計画目標値 達成度の評価

1. 「健康づくり計画」 栄養・食生活

項目	策定時 (平成24 年)	中間 (平成29 年)	現状値 (令和5年)	目標値 (平成34 年)	進捗率	評価
①規則正しい食生活の心がけ						
【一般市民】朝食を毎日欠かさず食べている人の増加	77%	73.1%	71.0%	85%	83.5%	A
②食品別の摂取への配慮						
【一般市民】うす味の食事を心がけている人の増加	59%	56.1%	52.7%	72%	73.2%	B
【全市民】脂肪の多い肉類やベーコン、ウインナー等を頻繁に食べている人の減少	80%	35.2%	28.1%	60%	213.5%	S
【一般市民】牛乳、乳製品または小魚類を1日1回程度以上食べる人の増加	58%	57.1%	57.5%	70%	82.1%	A
【一般市民】緑黄色野菜を1日1回以上食べる人の増加	59%	51.4%	54.3%	80%	67.9%	B
【一般市民】栄養のバランスやエネルギーに配慮している人の増加	56%	54.2%	54.4%	70%	77.7%	B
③適正体重の維持						
【一般市民】自分の体重を気にかけている人の増加	80%	80.1%	77.7%	90%	86.3%	A
【一般市民】適正体重を維持している人の増加	70%	65.3%	65.5%	80%	81.9%	A
④栄養成分表示の推進						
【一般市民】食品や料理の栄養成分表示を見たことがある人の増加	57%	56.6%	64.9%	70%	92.7%	A
【一般市民】栄養成分表示を見たことがある人で、参考にする人の割合の増加	81%	82.8%	82.2%	90%	91.3%	A
【一般市民】「食事バランスガイド」の認知度の向上	24%	25.0%	17.5%	50%	35.0%	D

2. 「健康づくり計画」 身体活動・運動

項目	策定時 (平成24 年)	中間 (平成29 年)	現状値 (令和5年)	目標値 (平成34 年)	進捗率	評価	
①若い世代や働き盛りの運動習慣者の増加							
身体を動かすことを意識している人の増加							
20歳代	男性	34%	41.2%	69.6%	38%	183.2%	S
	女性	50%	29.5%	61.3%	55%	111.5%	S
30歳代	男性	53%	50.0%	50.0%	58%	86.2%	A
	女性	47%	48.4%	43.1%	52%	82.9%	A
40歳代	男性	56%	50.0%	49.1%	60%	81.8%	A
	女性	52%	42.2%	47.2%	57%	82.8%	A
週に1～2回以上息のはずむ程度の運動を30分以上している人の増加							
20歳代	男性	34%	29.4%	39.1%	38%	102.9%	S
	女性	25%	15.9%	17.7%	28%	63.2%	B
30歳代	男性	36%	20.6%	19.6%	40%	49.0%	C
	女性	22%	11.8%	16.7%	27%	61.9%	B
40歳代	男性	38%	26.1%	27.3%	42%	65.0%	B
	女性	35%	21.9%	13.9%	38%	36.6%	D

3. 「健康づくり計画」 休養・こころの健康

項目	策定時 (平成24 年)	中間 (平成29 年)	現状値 (令和5年)	目標値 (平成34 年)	進捗率	評価
①睡眠等により、疲労回復を図っている人の増加						
睡眠による休養がとれている人の増加						
中学生	47%	45.8%	67.9%	51%	133.1%	S
一般市民	59%	53.8%	53.9%	64%	84.2%	A
②楽しみや生きがいを持っている人の増加						
【一般市民】上手にストレスに対応している人の増加						
	82%	81.9%	89.9%	86%	104.5%	S
【一般市民】趣味や楽しみを持つように心がけている人の増加						
	76%	72.7%	73.5%	81%	90.7%	A
③悩みを相談できる人や機会の増加						
相談できる人がいる人の増加						
中学生	93%	92.4%	97.8%	99%	98.8%	A
一般市民	77%	71.2%	73.9%	83%	89.0%	A

4. 「健康づくり計画」 歯と口の健康

項目	策定時 (平成24 年)	中間 (平成29 年)	現状値 (令和5年)	目標値 (平成34 年)	進捗率	評価
①歯の健康を守るための関心の拡大と正しい知識の定着化促進						
歯や歯ぐきの健康が体全体に影響すると思う人の増加						
中学生	40%	39.7%	40.6%	50%	81.2%	A
一般市民	69%	68.6%	67.4%	80%	84.3%	A
歯や歯ぐきの健康についていつも気にかける人の増加						
中学生	32%	32.9%	24.2%	50%	48.4%	C
一般市民	42%	47.0%	46.3%	80%	57.9%	C
②むし歯や歯周病の予防のための、歯や歯ぐきの健康によいことの習慣化						
1日に歯を磨く回数						
幼児2回以上	69%	69.7%	64.9%	85%	76.4%	B
小学生3回以上	51%	61.4%	51.3%	100%	51.3%	C
中学生3回以上	54%	80.7%	44.5%	90%	49.4%	C
高校生2回以上	59%	84.8%	84.8%	100%	84.8%	A
一般市民(男性)2回以上	67%	69.2%	69.3%	100%	69.3%	B
一般市民(女性)3回以上	43%	46.1%	43.9%	55%	79.8%	B
定期的に歯科健診を受ける人の増加						
幼児・小学生	17%	54.6%	51.6%	30%	172.0%	S
中学生	16%	21.8%	40.2%	50%	80.4%	A
一般市民	30%	30.0%	37.7%	48%	78.5%	B
一般市民30歳代	27%	31.7%	39.0%	60%	65.0%	B
むし歯のない人の増加						
小学生	86%	90.9%	90.7%	100%	90.7%	A
中学生	87%	84.4%	82.9%	100%	82.9%	A
一般市民	80%	70.7%	66.9%	100%	66.9%	B

5. 「健康づくり計画」 たばこ・アルコール

項目	策定時 (平成24 年)	中間 (平成29 年)	現状値 (令和5年)	目標値 (平成34 年)	進捗率	評価
①未成年者のたばこ対策						
【中学生】喫煙経験のある人の減少	6%	2.8%	1.8%	0%	98.2%	A
【中学生】たばこは、肺がんだけではなく、脳卒中、心疾患、高血圧疾患等の原因になったり、歯の健康にも影響すると考える人の増加	93%	88.3%	90.0%	100%	90.0%	A
【高校生】喫煙経験のある人の減少	7%	3.6%	2.1%	0%	97.9%	A
【高校生】たばこは、肺がんだけではなく、脳卒中、心疾患、高血圧疾患等の原因になったり、歯の健康にも影響すると考える人の増加	96%	92.1%	93.1%	100%	93.1%	A
②成人のたばこ対策						
【一般市民】たばこは、肺がんだけではなく、脳卒中、心疾患、高血圧疾患等の原因になったり、歯の健康にも影響すると考える人の増加	88%	86.5%	90.3%	100%	90.3%	A
公共の場での分煙の徹底	77%	—	100.0%	100%	100.0%	A
用語「COPD(慢性閉塞性肺疾患)」を知っている人の増加	—	18.3%	21.3%	80%	26.6%	D
③未成年者のアルコール対策						
【中学生】飲酒経験のある人の減少	30%	12.5%	5.3%	0%	94.7%	A
【中学生】お酒の飲みすぎは肥満や糖尿病などの原因になると考える人の増加	85%	78.8%	81.1%	100%	81.1%	A
【高校生】飲酒経験のある人の減少	29%	13.9%	6.9%	0%	93.1%	A
【高校生】お酒の飲みすぎは肥満や糖尿病などの原因になると考える人の増加	83%	82.6%	83.5%	100%	83.5%	A
④成人のアルコール対策						
【一般市民(40～60歳)】 ほぼ毎日飲酒している中高年男性の減少	46%	47.9%	44.7%	37%	82.8%	A
【一般市民】ほぼ毎日3合以上飲んでいる人の減少	6%	3.6%	2.5%	0%	97.5%	A
【一般市民】お酒の飲みすぎは肥満や糖尿病などの原因になると考える人の増加	77%	72.0%	74.6%	100%	74.6%	B

6. 「食育推進計画」

項目	策定時 (平成24 年)	中間 (平成29 年)	現状値 (令和5年)	目標値 (平成34 年)	進捗率	評価
①食育に関心を持っている市民の割合の増加						
一般市民	66%	58.5%	48.0%	90%	53.3%	C
②朝食を欠食する市民の割合の減少						
中学生	2%	2.0%	4.3%	0%	95.7%	A
20・30歳代 男性	15%	23.5%	14.1%	10%	70.9%	B
③朝食や夕食等、できるだけ家族みんなで食事をしている市民の割合の増加						
一般市民	66%	47.3%	54.4%	80%	68.0%	B
④(食中毒や食品表示など)食品の安全に関する基礎的な知識を持っている市民の割合の増加						
一般市民	37%	34.3%	32.1%	72%	44.6%	C
⑥地元産の食材を購入するよう心がけている市民の割合の増加						
一般市民	47%	30.4%	28.0%	60%	46.7%	C

7. 「自殺対策計画」

項目	策定時 (平成29 年)	現状値 (令和5年)	目標値 (平成34 年)	進捗率	評価
①悩んでいる人や、いつもと違う様子で辛そうに見える人が身近にいたら「声をかけて話を聞く」市民の割合					
	34.3%	33.0%	37.3%	88.5%	A
②こころの健康や悩みなどについて、市で相談できる機関があることを「知っている」市民の割合					
	44.2%	50.0%	48.6%	102.9%	S
③死にたいと思うほどの悩みがある人のうち、誰かに「相談したことがある」市民の割合					
	55.4%	50.9%	61.1%	83.3%	A